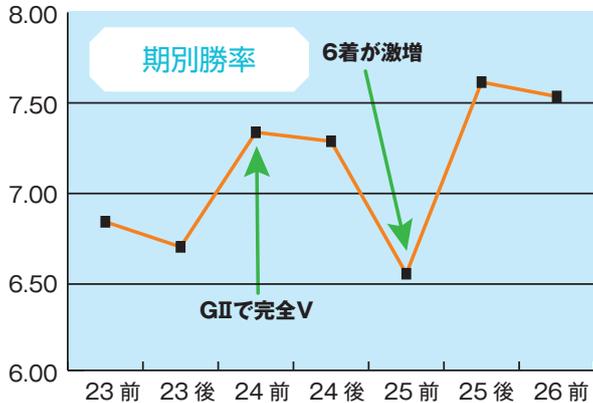




好調選手のトリセツ!

Hot Racer's MANUAL!



4762 藤原啓史朗 (岡山)

	日付	場名	レース種別	通算日	節間成績
	初出走	2013/5/1 ~	児島	タイトル	666566666
	初優出	2018/5/28 ~	住之江	タイトル	5年2か月 1211461②
	初優勝	2020/5/5 ~	児島	一般競走	7年1か月 112152121①
GI	初出場	2019/8/1 ~	びわこ	周年記念	6年4か月 435625162
	初優出	2022/9/7 ~	福岡	周年記念	9年5か月 312331②
	初優勝	(記録なし)			
SG	初出場	2023/7/18 ~	児島	OC競走	10年3か月 36553156
	初優出	(記録なし)			
	初優勝	(記録なし)			



今年に入ってから完全復調
2号艇時の1着率が50%!

6月15日時点で今年の最多優出回数を記録しているのが藤原啓史朗。23年のびわこ秩父宮妃記念で完全優勝を達成し、一躍時の人となった。しかしその後、記念に定着とはならずやや足踏みをし、24年5月から10月末に集計される25年前期は、6着数が倍近くなるなどゴンドロクが増え、勝率を大幅に落とした。

しかし今年に入ってからには、年またぎの県内戦で優出3着。その後の2節で連続優勝するなど、完全に復調ムードとなっている。

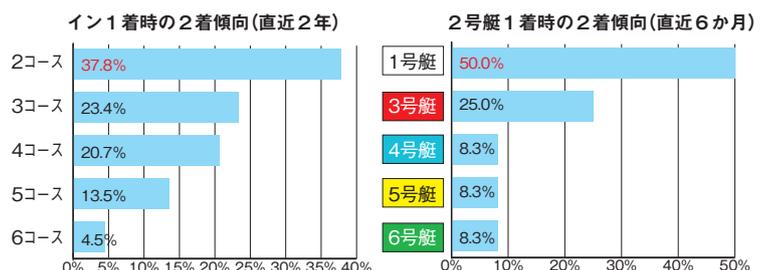
藤原のデータを見て、改めて

驚かされたのは1号艇時の安定感。過去1年の1着率は84・4%と実に高い。過去半年に限れば87・8%とさらに高くなっている。それでいてイン逃げ時の回収率も89・7%と高めなので、絞れば十分に好回収を期待できる。相手はそれなりにばらけてはいるが、1-2、1-3、1-4で8割強を占めており、この3点から相手を見ながら絞っていききたい。

また、最近多くなっているのが2号艇時での1着。過去1年1着率は27・7%とそれほど目立った数字ではなかったが、過去半年に限れば50%と驚くような数字を残していた。

2号艇の藤原が差しての2-1が主軸となるが、まくること多いので気配を感じたら2-1も視野に入れよう。また、6月の徳山一般戦の優勝戦では4号艇が前付けに来て、2号艇の藤原は3コースに引き、まくって優勝を奪い取ったが、正月の県内戦準優でも3コースからまくり差して勝っている。今年はその2回だけ、前付け艇を入れての3コース進入だったが、いずれも展示から3コースに引いていたので、展示で3コースとなったら狙い撃ちだ。

他では3号艇時に3連対率が約80%と高いが、1着から3着までまんべんなく取っているのボックスで買うのが吉だ。



	1着率	2連対率	3連対率	回収率
1号艇	84.4%	93.8%	93.8%	89.7%
2号艇	27.7%	53.2%	76.6%	62.3%
3号艇	24.3%	51.4%	80.6%	29.4%
4号艇	15.9%	43.2%	56.8%	37.7%
5号艇	9.8%	22.0%	41.5%	81.1%
6号艇	6.5%	28.3%	47.8%	23.9%



4939 宮之原輝紀(東京)

	日付	場名	レース種別	通算日	節間成績
	2016/5/3 ~	平和島	タイトル		44464466
	2017/11/15 ~	平和島	タイトル	1年8か月	12失15122③
	2018/6/7 ~	江戸川	W優勝戦	2年2か月	3141322①
GI	2019/1/19 ~	蒲郡	周年記念	2年10か月	62215626
	2019/9/18 ~	三国	ヤングダービー	3年6か月	1642412⑤
			(記録なし)		
SG	2022/10/25 ~	常滑	全日本選手権	6年7か月	15333失6
	2024/3/15 ~	戸田	総理大臣杯	8年0か月	21412③
			(記録なし)		



藤原啓史朗と並んで6月15日時点での今年最多優出回数を記録しているのは宮之原輝紀。昨年9月の津周年優勝戦でフライングをしてみたい、今年はほぼ一般戦を走ることになったが、そのうっぴんを晴らすかのように暴れまくっている。

宮之原はもともとフライングが多かったわけではなく、津周年優勝戦でのFは自身にとってデビュー以来通算4回目だった。同期の強豪選手、新開航の通算9回、栗城匠と板橋侑我の通算12回と比べれば、その少なさが分かる。そんな宮之原だけにF

イン逃げの回収率が高い！
5、6号艇時には2着狙い

の後遺症があったのか、前期は勝率6・87にとどまったが、5月からの新时期に入ってから8点台と完全に吹っ切れている。

宮之原のデータを見て、まず意外だったのは1号艇時の回収率が110%と高かったこと。1着率76%は低いと言うほどではないが、数字以上に期待感が下がっているようだ。こういう盲点を狙わない手はない。回収率が高い内は、無理に絞らずに1艇を外すくらいで良いだろう。

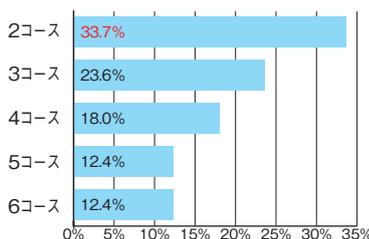
そして宮之原の強みは2号艇時のしぶとさ。若い頃から2号艇での好成績が比較的目立っていたが、直近6か月では1着率が42・8%とかなり高い。昨年のグランプリシリーズの2日目には、ピット離れで飛び出しインを奪取し、そのまま逃げて勝ったというレースもあった。相手は211が中心となるが、穴狙いで213、214も押さえておきたい。

そして宮之原を狙う上でもうひとつ覚えておきたいのは、5号艇時と6号艇時の2着率の高さ。過去1年では5、6号艇時どちらも25%強で2着になっていく。過去半年に限れば約30%で2着とさらに数字を上げており、外枠時のこの2着率の高さが見逃せない。5、6号艇時の宮之原は2着狙いと覚えておこう。

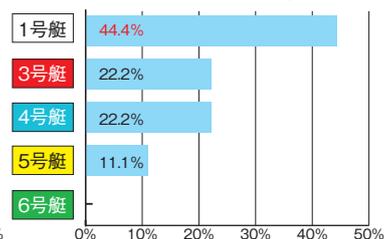
表2 艇番別成績(24/6/1~25/5/31)

	1着率	2連対率	3連対率	回収率
1号艇	76.0%	86.0%	90.0%	110.0%
2号艇	28.2%	51.3%	76.9%	45.9%
3号艇	9.7%	32.3%	51.6%	31.9%
4号艇	18.2%	39.4%	51.5%	36.0%
5号艇	17.9%	43.6%	56.4%	69.1%
6号艇	5.7%	31.4%	42.9%	160.6%

イン1着時の2着傾向(直近2年)



2号艇1着時の2着傾向(直近6か月)



好調選手のトリセツ!

Hot Racer's MANUAL!